

## 第187回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

## 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

## 問題1〔丸数字は予想配点、合計50点〕

金額がマイナスの場合は△を付けること。

問1 〔 ㊸ △10,250 〕 万円

問2 〔 ㊸ △11,808 〕 万円

問3 〔 ㊸ 250 〕 万円

問4 〔 ㊸ 449 〕 万円

問5 (A)案の方が(B)案よりも正味現在価値が〔 509 〕万円大きいので有利である。  
〔完答で㊸点〕

問6

独立投資案の場合、正味現在価値法と内部利益率法では同様の結果となるため優劣はないが、相互排他的投資案の場合には、異なる結論になる場合がある。こういった場合、一般的には企業価値の最大化を目的として、利益額を最大化することに着眼した正味現在価値法を採用することが多いため、正味現在価値法と内部利益率法とでは、結果的に正味現在価値法の方が優れていると考えられている。⑩

問題2〔丸数字は予想配点、合計50点〕

問1

製品A 〔 ② 250 〕 円/時間      製品B 〔 ② 400 〕 円/時間  
 製品C 〔 ② 180 〕 円/時間

問2

製品A	製品B	製品C
④ 2,875 個	④ 4,500 個	④ 0 個

貢献利益の総額 〔 ④ 8,275,000 〕 円

問3

製品A	製品B	製品C
③ 3,000 個	③ 4,500 個	③ 900 個

貢献利益の総額 〔 ④ 9,210,000 〕 円

問4

製品A	製品B	製品C
③ 2,225 個	③ 4,500 個	③ 3,800 個

貢献利益の総額 〔 ③ 11,045,000 〕 円

問5

損益分岐点売上高 〔 ③ 12,940,000 〕 円